



消費支出

奈良市の消費支出が、16年連続で全国を上回る



2022(R4)年の奈良市における二人以上の世帯1世帯当たりの1カ月の平均消費支出は30万3376円となりました。

全国の二人以上の世帯1世帯当たりの1カ月の平均消費支出は29万865円となり、奈良市は2007(H19)年から16年連続で全国を上回りました。

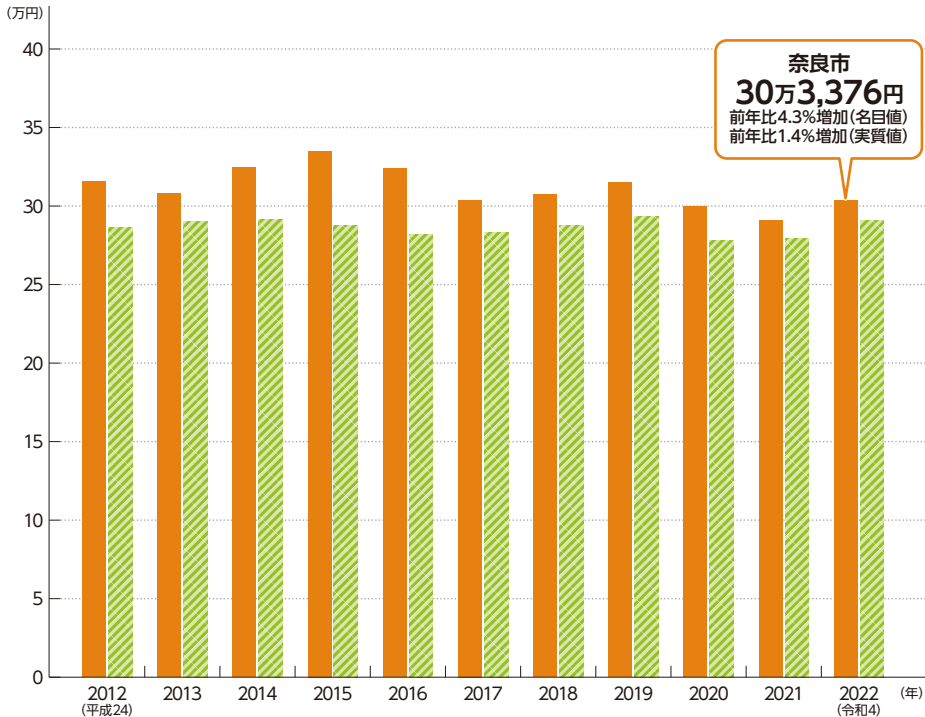
また、奈良市の二人以上の世帯の消費支出は前年に比べ名目値は4.3%の増加、実質値は1.4%の増加となりました。

- 消費支出…いわゆる生活費のことであり、日常の生活を営むに当たり必要な商品やサービスを購入して実際に支払った金額。
- 名目値…実際に市場で取引されている価格にもとづいて推計した値。
- 実質値…物価の変動の影響を取り除いた値。

消費支出(奈良市・全国 二人以上の世帯)の推移

資料：総務省統計局「家計調査」

■ 奈良市 ■ 全国





10大費目別にみた支出の特徴

奈良市の消費支出は全国平均に比べ、食料、住居、光熱・水道、家具・家事用品、被服及び履物、教養娯楽にかかる消費支出が高い

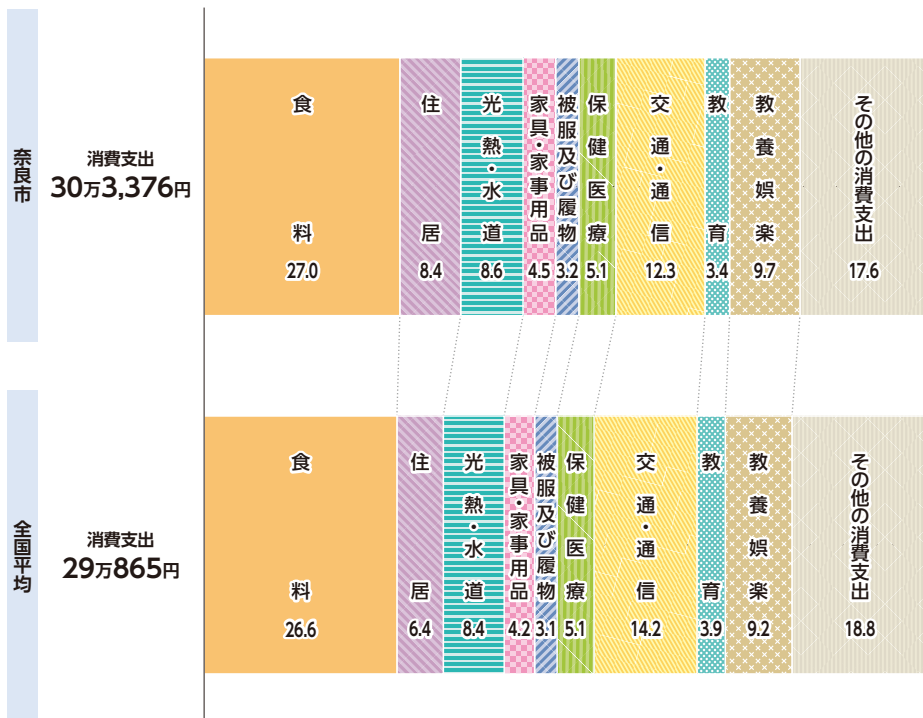


2022(R4)年の奈良市における二人以上の世帯1世帯当たりの1カ月の平均消費支出は、全国平均に比べ、食料、住居、光熱・水道、家具・家事用品、被服及び履物、教養娯楽への支出割合が高くなっています。

前年に比べ、10大費目のうち、消費者物価の変動を反映し実質増加した費目は、住居、光熱・水道、家具・家事用品、被服及び履物、教育、教養娯楽の6費目で、実質減少した費目は、食料、保健医療、交通・通信でした。

消費支出の10大費目別内訳(奈良市 二人以上の世帯)(2022(R4)年)

資料：総務省統計局「家計調査」





収入と支出のバランス

可処分所得から消費支出を引いた黒字は209,375円、黒字率は39.3%



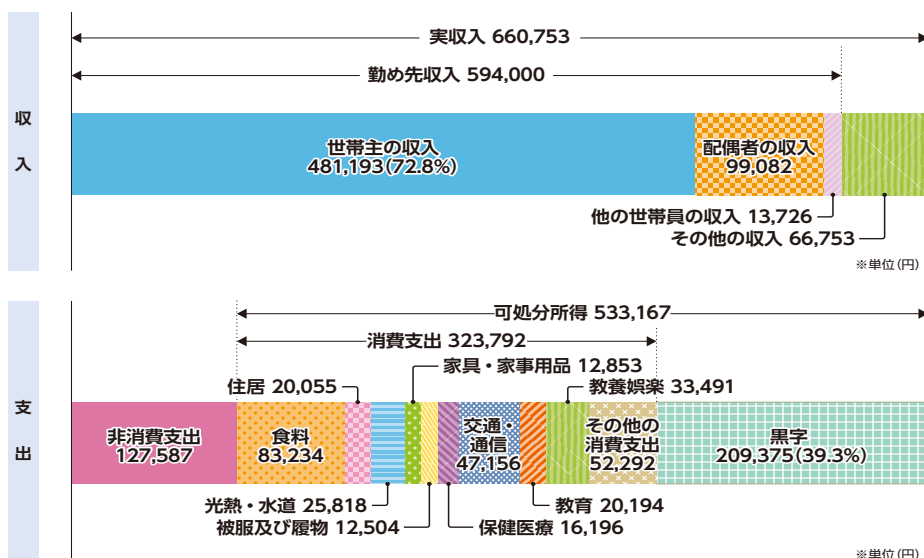
2022(R4)年の奈良市における二人以上の勤労者世帯1世帯当たりの1か月の平均実収入の構成比をみると、世帯主の収入が48万1,193円で、実収入全体の72.8%となりました。可処分所得から消費支出を引いた黒字は、20万9,375円で黒字率は39.3%となっています。

前年と比べると、世帯主収入は48万1,193円で737円減少し、配偶者収入は9万9,082円で10,576円減少しましたが、両者とも全国平均を上回っています。なお、実収入に占める世帯主収入の割合は72.8%(全国平均73.0%)でした。黒字は前年から3万6,945円増加し、20万9,375円に、黒字率(可処分所得に対する黒字)は前年33.5%から5.8ポイント増加し、39.3%になりました。

- **非消費支出**…税金や社会保険料など原則として世帯の自由にならない支出。
- **可処分所得**…「実収入」から税金、社会保険料などの「非消費支出」を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のこと。これにより購買力の強さを測ることができる。
- **黒字**…「実収入」と「実支出(消費支出+非消費支出)」との差であり、マイナスの場合は赤字ということ。「可処分所得」から「消費支出」を差し引いた額と同じ。

収入と支出のバランス(奈良市 二人以上の勤労者世帯)

資料：総務省統計局「家計調査」



※集計中に四捨五入しているため、内訳の集計と合計が一致しない。



全国家計構造調査からみた消費の特徴

県外での消費支出(購入)の割合は全国1位 教育への消費支出は全国を大きく上回る



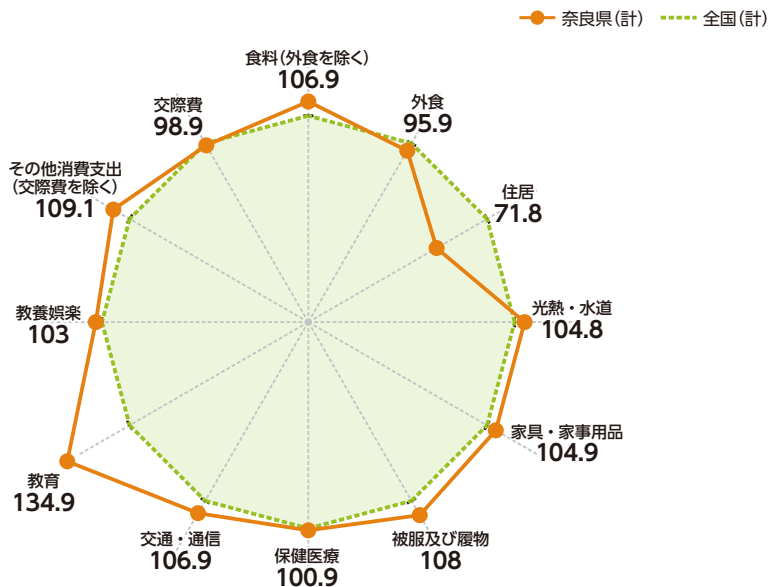
他の都道府県での消費支出(購入)の割合は19.1%で、全国1位となっています。また、教育への消費支出は9,816円で、全国(7,279円)を大きく上回っています。

2019年全国家計構造調査によると、総世帯1世帯当たりの消費支出の購入地域別割合を都道府県別にみると、他の都道府県で購入する割合は19.1%で、全国1位となっています。

また、総世帯1世帯当たりの費目別消費支出について、全国を100として比べると、外食、住居、交際費の3費目を除く9費目で全国を上回っています。特に教育は、全国より大きく上回っています。

全国を100とした奈良県の費目別消費支出(総世帯)

資料：総務省統計局「2019年全国家計構造調査」



「他の都道府県」での購入割合(総世帯)

順位	1位	2位	3位	4位	5位
都道府県	奈良県	神奈川県	佐賀県	埼玉県	千葉県
消費支出「他の都道府県」での購入割合(%)	19.1%	17.2%	17.0%	16.5%	15.1%